

理工学研究科博士前期課程 2 年の石川千智さんが非破壊検査協会新進賞を受賞

平成 21 年 1 月 29 日（木）から 30 日（金）に東京工業大学で開催された第 16 回超音波による非破壊評価シンポジウムにおいて、理工学研究科博士前期課程生産環境工学専攻 2 年生の石川千智さんが日本非破壊検査協会新進賞を受賞しました。

本賞は協会主催の大会において講演発表した若手研究者の中から、年に数名の優秀な研究発表者を選び、贈呈されるものです。今回、受賞の石川さんの発表題名は「異方性材料を伝搬する超音波のシミュレーションツール」であり、同研究科の中畑和之准教授との共著論文です。この研究は、音響異方性・非均質性を有する構造部材に対して、超音波による非破壊検査を行う際に検査技術者に必要となる種々のシミュレーションツールを提案したものです。このツールの特徴は、PC での高速計算が可能であること、一般技術者が簡単に利用できるように GUI を構築したこと、Web サイト等を通じてどの技術者でもフリーに使えるように工夫したこと。異方性非均質材料を伝搬する超音波の挙動は複雑ですが、石川さんはこの特徴を分かりやすく発表し、かつ本発表で示したツールが今後の非破壊検査に大いに貢献するとの評価を受けたことにより本受賞のはこびとなりました。



石川さんが受賞した新進賞の賞状



受賞を喜ぶ石川さん